

平成 30 年 9 月 8 日

日野市公民館運営審議会委員長
宮崎 竹子 様

日野市中央公民館
館長 佐藤 早苗

「公民館における利用者交流のあり方について」（諮問）

日野市中央公民館は 1966 年（昭和 41 年）に開設し、今年で 53 年目を迎えました。その間、2004 年（平成 16 年）に開設した高幡台分室とともに、広範な利用者の学習要求に応じてまいりました。

当館の歴史を振り返ると、開設 20 周年記念事業をきっかけに誕生した「中央公民館利用者交流会（る～ぷ）」が、その後の「公民館まつり」や、「年末の大掃除」、「三者懇談会」など数々の事業の中心となって行ってきたという経緯があります。

また、2010 年（平成 22 年）には市民委員の参加のもと「日野市公民館基本構想・基本計画」を策定し、公民館のめざす方向を明確にしました。ここでも公民館が「学び合い、交流しあう」場であることがあらためて示されています。

その一方、最近では「若い世代の利用がなかなか広がらない」といった課題も指摘され、さまざまな世代が参加できる仕組みづくりや、新たな施策を求める意見もあります。

昨今のインターネットの普及は、SNS 上で簡単に人と人がつながることを可能にしました。また、学びたいと思えば一人で学ぶための選択肢も豊かになったと言えるかもしれません。が、そんな便利な時代になった今だからこそ、「交流の生まれる居場所」としての公民館の価値が、あらためて問われているのではないのでしょうか。

つきましては、今後の公民館における利用者交流のあり方について、審議会のご意見を賜りたく、諮問いたします。

1 諮問をお願いする事項

「公民館における利用者交流のあり方について」

2 答申の時期

平成 31 年 2 月末日